

昭和55年1月1日発行

# 岐阜県の プラスチック

特集・西ドイツの国際見本市視察報告 第34号



当工業組合はさる12月17日、長良川ホテルで臨時総会のあと中部プラスチック金型協同組合

の会員と初の懇談会を開いた。出席者は金型協組側が加藤正実、多田順一郎正副理事長と岐阜地区会員ら9人、一方、工組側は大松幸栄理事長ら役員と一般会員31人で、プラスチックの

## 金型業者と初懇談 協調と協力申し合わせ

成形成工業界を取り巻く種々の問題点について話し合った。この結果、成形成加工と金型加工の両業界は『お互いに協調、協力し、新製品の開発や生産に力を入れ、付加価値の高い社会に役立つ商品をつくり出す』ことなどを申し合わせた。  
(写真は工組と金型協組懇談会出席者の記念撮影)

岐阜県プラスチック工業組合会報

# 『新時代建設元年の年』

岐阜県プラスチック工業組合

理事長 大松 幸 栄

第二次オイルショックが続く中で、1980年の新年を迎えました。

昨年は、一般的にまあまあ年であったと考えますが、しかし、国際情勢を見るならば大変な不安定の様相が起こりつつあります。南北問題では、産油国対非産油国、経済と社会の格差増大、資源問題を中心とした国際摩擦、分極化した軍事競争と経済利権の関係、東西関係のリーダーシップの弱体化の問題等々を、今



大松 理事長

年以降に持ち込んで来ている情勢です。また、国際間交渉の場においても、強国意識の減退に依って多国間を含めたバランスに依る外交が行なわれるようになってきました。これらの現象によって、交易のための国際通貨が過去のような強力な地位から引き降ろされる状況になりつつあります。

このようにわれわれ人類に一大転換を迫られて来たのが今日の情勢です。ちょうど半世紀にわたる物質文明の発達に一種の見通しをしなければ、次代への新しい社会発展が不可能となってきた事実を、十分に認識しなくてはならないのです。わが国の経済社会においてもこれらのことと時を同じくして、変化の渦中にあるのが今日の姿なのです。政治においても、過去の単なる延長線からの発想のみで処理できない問題が山積みされています。今後、多党化の政治、デモクラシー本来の姿勢の追求とこの変化を認識し、その上に新しい発想を加えて、新時代の価値感の創造を図る時代に入ったと思うのであります。また、この基盤に立って、起こりつつある高年齢化社会、高学歴社会に対する社会的、経済的、政治的取り組み方の探求をすることが肝要であります。

新年はさらにいろいろな問題が石油をもとに起きるでありましょうが、われわれは英知と勇気をもって、永い困難な道程ではあるが新しい社会構築のために努めねばなりません。

とくに新年は『新時代建設元年の年』と心得て、1980年代の幕明けに際して心を引き締めてがんばる覚悟であります。どうか組合員各位のたゆまない努力によって、岐阜県内プラスチック産業が発展し、各企業が繁栄して行くことを祈念して新年のごあいさついたします。

# 世界最大級の国際見本市

## 『クンストストッフェ'79』の視察報告

### 出品1,460社、13ホールに分け展示

西ドイツのデュッセルドルフで79年度最大の国際プラスチック・ゴム見本市(クンストストッフェ79年)が開催され、岐阜県から岐阜県工業技術センター高分子科長の関谷裕彦氏が派遣された。関谷氏は見本市視察と同時に西ドイツ、スイス、フランス、オーストリア、イタリアなど欧州各国のプラスチック産業も視察した。このうち国際見本市に焦点を合わせて次の概要を聞き、同氏撮影の会場写真を添えて特集号とした。

クンストストッフェ79年はヨーロッパで開催される他の見本市(イタリアのミラノ、フランスのパリ、イギリスのバーミンガム)に比べてはるかに大規模で、世界最大級のプラスチック・ゴム関係の国際見本市であった。その展示



地元の西ドイツの大手メーカー・BASF社の一般成形品展示小間

規模は、第1回の1952年が出品会社200社、展示面積800㎡であったのが、今回の11回は出品社数1,460社、展示面積は10万㎡で、会場は13ホールを使用したというからいかに大がかりな国際見本市かわかる。78年東京で開かれたジャンプラスの出品社数は1

95社、うち海外企業の参加が49社。クンストストッフェはジャンプラスの実に7.5倍、海外企業の参加は10倍以上の513社というから驚かされた。日本から単独出品したのは日精樹脂だけで、現地法人通じ鐘化、積水化、積水樹、三井石、信越化、電氣化が参加した。

## 既存材料の新用途開発に努力 見本市参観者は42%が海外から

ミラノ、パリ、バーミンガムと回りながら4年ごとにデュッセルドルフで開かれる Kunststoff 展は、昨秋、10月10日から1週間 にわたって開かれた。期間中の参観者は102カ国から約18万5,000人にもものぼり、その半数近い42%が海外からの訪問者。わが国からは8千人近い人が見学したといわれ、文字通り国際的であった。

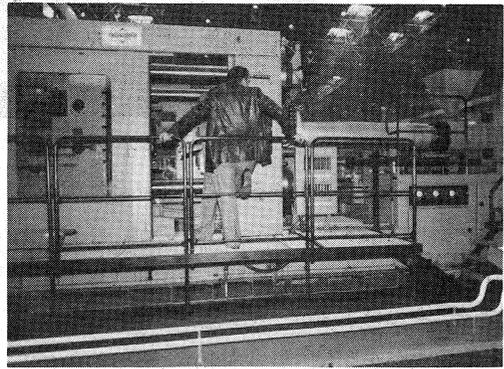
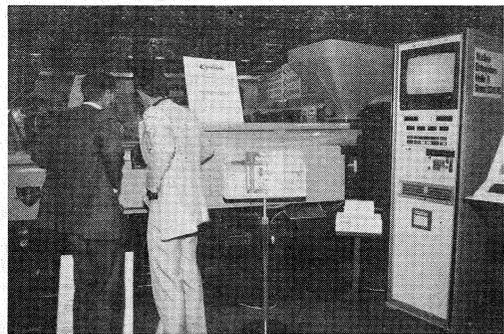
### 石油危機問題は深刻に考えず

会場で注目を浴びていたのは資源の有効利用に主眼を置いた機械や技術だったが、業界関係者は引き続き原油問題の影響についてはあまり非観的でなかった。とくに見本市開催委員長の

ドクターデーテル氏は『石油事情とプラスチック産業の関係について世界的に問題になっている石油は、あ

まり深刻に考えていない』とむしろ楽観視している。その理由は、西ヨーロッパはプラスチック産業には全原油使用量の3.4%（わが国は6~7%）しか利用されていないことと、紙その他の材料がそれ以上に高騰しており、まだまだチャンスが多い、問題にしなければならないのは業界の再編成であるとしている。また、省エネルギーについては当然のことで、材料の節約、使用機能を第一に考えた製品開発をすべきで、しかも早いスピードで行う必要があると述べていた。

13ホールを使用し、機能別にレイアウトされた会場は、1号から6号館までが原材料と半製品、製品で、7号から13号館は機械、器具



直径2メートルまでできるインフレ成形機 ①と超大型②の射出成形機

類が展示されていた。

出品内容を簡単にまとめると、プラスチック材料はとくに新しいものは見当らなかったが、既存材料の性能を向上させた用途の開拓に努力している点がかがえ、自動車関連、輸送分野、軽量材（発泡資材）などがエンジニアリングプラスチックを中心に製品開発されていた。

### 塩ビ樹脂製のアルミサッシ

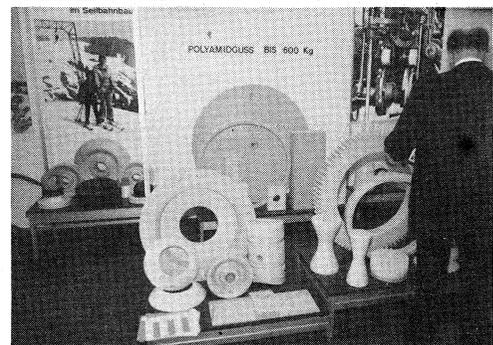
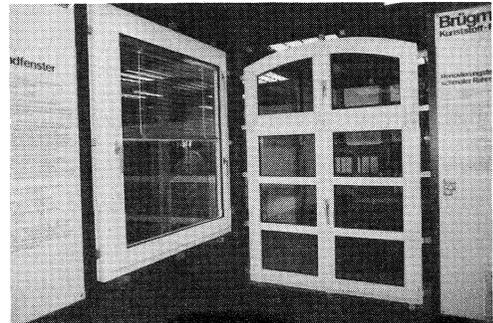
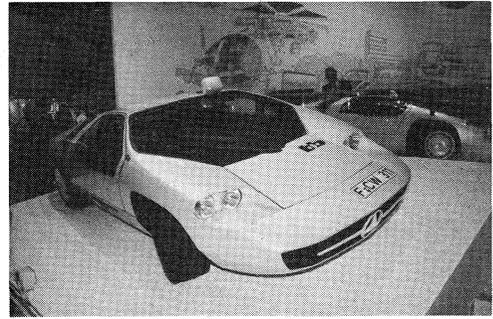
プラスチック製品の傾向は、建築用の内外製品、スポーツ用品、産業資材として超大口径のパイプやギヤなどが目についた。なかでも窓わくを鋼、アルミサッシから塩化ビニル樹脂製品におきかえた製品が注目され、すでにそのシェアはヨーロッパの30%を占めている。機械類は、規模こそ大きいが日本と同程度だった。



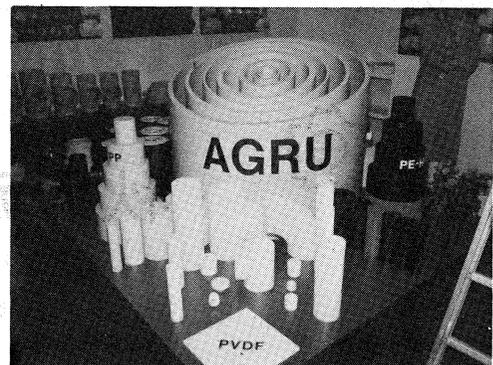
海外参観者専用の外人クラブ



わが国唯一の出品メーカー、日精樹脂



⑤からボディがポリエステル製の自動車。塩ビ製の窓わく。ポリアミド製の大型滑車と超大型歯車。各種大口径パイプ。



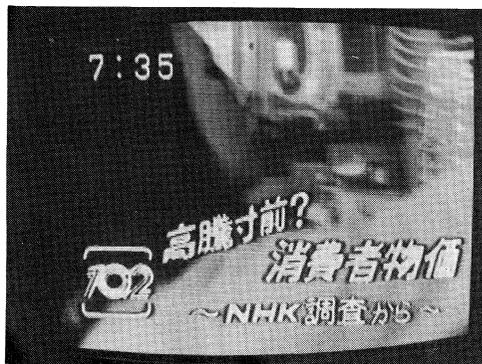
# 大松理事長 テレビ番組で実情説明

12月5日朝、NHK番組のスタジオ102のテレビ放送(写真)で、プラスチック成形品の価格上昇について取り上げられ、当工組理事長の大松幸栄氏が日用品工業組合の理事長をしていることから業界を代表して成形加工業界の実情を訴えた。このテレビ番組は石油価格の上昇から卸売物価が高騰しはじめ、消費者物価にも影響してきたという現状をとらえ、運動靴とプラスチックの日用品を対象にあげたもの。

放送内容は『企業の80%が主力製品の値上げを実施し、原料の値上がり分を製品価格に転嫁している。こうした値上がりは生活と直接関係する消費財にも波及し、家電や衣料など消費財メーカーは販売価格を値上げした。しかし、調査結果では生産財産業は原料の値上がりを大半が製品価格に転嫁しているのに対し、消費財部門の値上がりはすんなり進んでいない傾向がみえる』と報道していた。

## 原料の急激な値上がり避けよ

この取材番組の中で大松理事長は『業界は過当競争が激しく、製品価格を急に上げて製品は売れません。このため加工業界や流通段階で



合理化をやり、原料アップ分を吸収しているのが実情です。原料の急速な値上がりは消費者も加工業者も混乱し、迷惑を受けるので、原油値上がり、それにとまなう原材料の高騰はこんども続くだろうが、急激な値上がりは極力避けてもらいたい』と加工業界の実情を説明した。



## 秋元産業株式会社

本社 東京都中央区八重洲5の7

名古屋営業所 名古屋市 中村区米屋町2(埼玉ビル9F)

TEL <052> 582-5071

## 新技能士 5 人誕生

### 工組事務局で授与式

54年度の技能検定合格者がこのほど決定、12月18日、大松理事長から合格した5人に検定合格証書と技能士章、合格者バッジなどが手渡された。

ことしのプラスチック射出成形検定受検者は2級ばかり15人で、合格率は33%と近年にない厳しさであった。晴れの技能士となった人は林修(岐阜プラスチック工業)小森秀彦(同)吉永和寿(羽島プラスチック工業)武藤茂(武藤化成工業所)今井良一(武藤合成)の皆さん。岐阜県で技能検定が行われるようになって6年になるが、この間、合計で1級が2人、2級は38人の技能士が誕生したことになる。

なお、今年、優秀な成績で検定を合格した小森秀彦君には岐阜県知事賞、武藤茂君には岐阜県職業能力開発協会会長賞が授与された。

### 12 企業を対象に巡回指導実施

当工業組合と岐阜県工業技術センターは、さる11月下旬の4日間、組合員12工場を対象に技術巡回指導を実施した。

巡回指導を受けた企業は日本工芸、田中化学、



### 大松理事長から合格証書を受ける新技能士

児山樹脂、武藤化成、弥生製紙、笠原化成、大永工業、土川由美、関ヶ原プラ工業、金武化成、岐阜化成、信和工業で、樹脂の特性、成形機械の問題、成形品のデザインなどについて話合った。工組では機会あるごとに随時、巡回指導する方針で、ご相談のある方はいつでもお気軽に事務局へ連絡して下さい。

### 工組が浄油サービスをあっ旋

各種成形機の作動油のクリーニングサービスを行う中日システムサービスセンター岐阜事務所ができ、当工組は浄油サービスのあっせんをします。同センターに作動油管理を委託すると1リットル当たり約80円の経費で浄油サービスしてもらえ、必要に応じて成形機の摩耗チェックし、メンテナンスのアドバイスもしてくれるという。詳細は工組事務局まで。

**TOSHIBA**

**東芝機械株式会社**

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11

名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号

化工機課 TEL <052> 561-8341

### ◎ 1月に全日本の日用品フェア◎

日本プラスチック日用品工業組合は、新春の1月25日から2日間、東京のサンシャインシティ文化会館4階で『'80全日本プラスチック日用品フェア』を開催する。

内容は、組合員の出品に加えて関連業界の新技术、アイデアなど研究の成果の発表ならびにプラスチック製品に係わる流通シンポジウムも併せて開催する。

### ◎ 廃プラの固形燃料化と取組む◎

プラスチック処理促進協会（川合賢一郎会長）は55年度技術開発プロジェクトのメインテーマとして、廃プラスチックの固形燃料化に取り組む。これは廃プラスチックを貯蔵、運搬が容易な代替、補助燃料にするため、固体燃料化技術の研究開発を行おうとするもので、来年4月から『廃プラの有効利用に関する技術開発調査研究事業』の一環として取り組む。

調査費は約一億円、このうち7,000万円を固形燃料化技術の研究開発に投入、関係企業との共同研究で、55年度中に実験プラントを建設、実用化技術の確立まで行う。

### ◎ 日精がテクニカル・セを開設◎

日精樹脂工業は、射出成形機の電子制御装置に関連した利用技術の開発とソフトウェアの提供を図る施設として本社（電話02688-2-3000）に『テクニカル・センター』を開設した。

センター内には同社製の各種電子制御装置を装備した射出成形機4台、その他2台の合計6台と関連施設や機器を常設している。

### ◎ ラバープラスの出品は17社◎

『アジア・ゴム・プラスチック国際見本市＝ラバープラス80』は5月26日から5日間、シンガポールの世界貿易センター3号館で開かれるが、現在、出品申し込みは順調で、このほど日本企業の参加が17社決定した。

### 監督者の安全活動の

### 『自己採点表』

《 職長の部下に対する影響 》 職長は自分の職場の部下に対して、次の点について大きな影響力をもっております。

①生産と作業の指導②品質の向上③安全の推進一で、このうち『安全の推進』については『生産と作業』と『品質』の問題に比べてややもするとおろそかに扱われがちです。職場の要めの職長が手本を示して部下を指導する必要があります。職長（監督者）の安全に関する『自己採点表』として、アメリカの中小企業で採用されている一例を紹介すると。

《 職長の自己採点表 》 作業の指導面では①

『安全心得』などを活用しているか②職長自身は安全な作業のやり方に違反していないか③部下の正しくない作業方法を見つけたとき、すぐ改めさせているか。

機械の危険性の面では①機械の危険な個所を完全に知っているか②保護具を正しく使用しているか③保護具をいつでも使えるように、定められた場所に備えているか。

教育と職場会議では①作業者一人一人に危険な個所を教え、定期的な職場会議でみんなと具体例を討議しているか②過去の災害事例のまとめをよく調べて部下に解説しているか③災害にならなかった『ひやり事故』をもれなく『ノート』にまとめているかーなど。（A I U顧問・労働安全コンサルタント＝名越助廣）

# デザインコーナー

岐阜県プラスチックデザイン協会

## 消費者の購入意識

《 消費者の「手」が肥えてきた。見過ごされがちだったさわる感覚の復活だ。買おうか、買うまいかと迷う時、触覚が決めてとなってきた。さわり心地が心の触れ合いに通じる。》

これは、去る6月28日、日経流通新聞の小見出しである。

基本的な性能やデザイン上の優劣がつけ難くなったいま、従来は副次的とみられていた触覚が売れ行きを左右する決め手となってきた。

オーディオ、カメラ、宝石、貴重品扱いでガラスケースの中にしまいでいたものも客に開放しはじめ、消費者はさわってみて、気に入ったら初めて店員に性能などの説明を聞くという。

家庭用品メーカーのレックが料理時間などを計るタイマーの新製品を二種類（丸型、角型）出したのが二年前。色は同じものをそれぞれ数種類出し、価格はいずれも1,800円だった。

どちらが売れたか。

視覚的には、角型のほうがシンプルで新鮮な感じがするが、丸型が角型の二倍ほど売れているという。（角型は業界でデザイン賞を受賞したものだ）

これも、使い勝手、手に持った時の感触、そうした広い意味でのさわり心地が見た目のデザインの優劣を超えて売れ行きを左右しているのです。

見た目の柔らかさや実際にさわった感じの柔らかさが一致しているかどうか、同じ手ざわりでも、自分の手に合った微妙な味わいを求めるといったようだ。

消費者は良いモノをじっくり長く、楽しく使おうという本物志向にあるのです。

こうした感覚意識をどう考え、今後の新製品開発に生かしたら良いのか、プラスチック製品（日用雑貨）の場合、非常に問題である。

少なくとも、東京都の郊外に住む主婦（20代～50代）50人を集め、ダイニング・キッチンについて調査を行ったところによると、ジュース、ミキサーを始めとして多くの便利用品とされるものにはあまり興味がなく、自分の手で料理したほうが早くて良いと言っている。

むしろ、主婦が毎日使うモノ、買い換え需要を中心に関心が高く、しかも、整理のしやすいモノであることが重要のようである。

## 三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

**NOVAMID**

ポリカーボネート樹脂

**NOVAREX<sup>®</sup>**

PBT樹脂

**NOVADUR**

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

**NOVATEC**

高圧ポリエチレン

**NOVATEC-L**

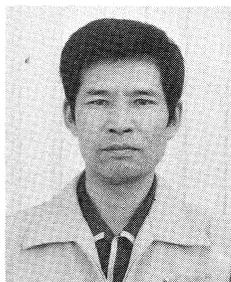


三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル  
電話 03(283)6111(大代表) (〒100)

# 転業10年、企業は軌道乗る

## 武藤化成工業所



武藤幸平代表

新年の工場訪問は、武儀郡武芸川町跡部にある武藤化成工業所（個人企業、従業員13人）を訪ねた。工場は長良川の支流・武儀川沿いに北上したところで、岐阜市の最北端、

三輪と隣接している。工場は昭和53年6月に完成したというだけあって真新しく、どこを見ても新築の装いがはっきり出ている。

新工場開設と同時に設置されたのは、東芝15オンスと住友ネスタール13オンスの新鋭2機種。従来機種10オンス2台と8オンス、3オンスに代わって昼夜兼行で、自動車部品や刃物関係の射出成形品を生産している。

### 新しい課題は自動化、省力化

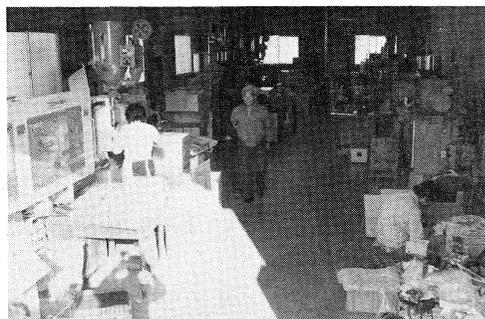
武藤さんがプラスチックと取り組み始めたのは比較的新しく、10年前の昭和45年6月。それまで既製の縫製工場を経営、最盛期は50人近い縫製工員を抱えていたこともあったという。しかし、ミシン加工は常にある程度の熟練者を揃えねばならず、また、地方の縫製加工業者には限界があることなど難点が数々出てきた。それに武藤さんは『2人の息子（幸平、茂両氏）に残せる企業は何か』と将来のことを考えた結果、このプラスチックの成形加工を選び、転業した。

転業当初は、ミシン工場の跡に10オンスと

3オンスの2台の射出成形機を入れ、アイワ化成（愛知県）の弱電部品を下請生産した。48年には10オンス、49年には8オンスの射出成形機を導入、刃物関係や自動車部品の下請生産をするなど、順次、取引先は増えた。創業2～3年間は資金的に苦しんだこともあったが、縫製工場時代の経験を生かして苦境を切り抜け、53年6月、新鋭射出成形機導入を機会に延べ430㎡の新工場（写真）を建設、企業はすっかり軌道に乗っている。

### 武藤さんの自慢は2人の息子さん

武藤さんの自慢は2人の息子さん。しかも、長男・幸平さんの奥さんは偶然にも実家が関市のプラスチック工場（斉藤プラスチック）とい



う。次男の茂さんもプラスチック工場の経営はやる気で、昨秋は2級技能検定にも合格、おまけに職業能力開発協会から表彰を受けた。

武藤さんの自慢のタネは増えるばかりで、最後に『一日も早く、2人の息子にバトンタッチしたいがなかなか離してくれない。いま息子たちが主張するホッパーや乾燥装置など自動化、省力化装置導入の資金づくりを考えたあとは引退するつもり…』と一息つく。



あけまして おめでとうございます。

80年代最初の新年を迎えました。この新年も工業組合の皆さんから親しんでいただけるように、事務局一同がんばります。

この新年号では西ドイツで開かれた国際見本市『クンストストッフェ79年』に岐阜県から派遣された岐阜県工業技術センター・関谷高分子科長のレポートを写真入り(同氏撮影)で特集しました。

これに続いて新年は5月26日からシンガポールで『アジア・ゴム・プラスチック国際見本市(ラバープラス80)』が開催予定されていますが、当工組からは視察団を派遣、現地の模様をこの会報でお知らせする予定です。

また、11月1日から6日間、大阪・港区の国際見本市会場で『第8回・日本プラスチック・ゴム見本市』が開かれます。この期間中に観光バスで見本市見学会を実施する計画を立てていますので、いまから予定しておいて下さい。

□中小企業高度化資金の借入希望調査□

岐阜県と岐阜県中小企業団体中央会は、56年度中小企業高度化資金の借入希望調査を行っ

ています。中小企業を取り巻く経済環境は非常に厳しい状況下にありますが、この時期こそ合理化・近代化を共同の力によって図り、将来発展することが望まれます。中小企業高度化資金は、これに対応する融資制度で、組合員グループにより借入を推奨します。ご希望があれば、1月20日までに工組へ電話下さい。

□今年も代行、代理店事業のご利用を□

当工組は組合共同事業の一環として労働保険の事務代行、損保・生保の代理店事業を実施しています。新年も利用下さい。また、好評の『県プラ自動車ローン』の利用もお願いします。

## 岐阜県のプラスチック 1980 34号

昭和54年12月25日印刷

昭和55年1月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号  
(岐阜産業会館内)

電話(0582)72-7173

### 岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

編集 岐阜市大黒町3丁目5番地

電話(0582)47-7231

中部パブリシティセンター

# 出光

## の石油化学製品

◎取扱品目

ポリスチレン

高压ポリエチレン

中低压ポリエチレン

ポリプロピレン

ABS樹脂

不飽和ポリエステル

カルブ®

ポリカーボネート



### 出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111

名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名典ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611



岐阜プラスチック工業株式会社

取締役社長 大松 幸栄

本社 岐阜市神田町9丁目25 (大岐阜ビル6F)  
TEL <0582> 65-2233 (代)

株式会社

東海ポリエチ工業所

取締役社長 大野 繁俊

本社工場 羽島郡岐南町野中宇州崎  
TEL <0582> 46-1313 (代)

合資会社

田中化学工業所

代表取締役 田中 弘一

本社 岐阜市島田中町23  
TEL <0582> 52-1628

工場 関市小屋名520  
TEL <05752> 8-2077

品質と技術の工業部品専門メーカー

武藤合成株式会社

代表取締役 武藤 昭三

本社工場 各務原市蘇原村雨町3の46  
TEL <0583> 82-4361 (代)

ひまわり印家庭用雑貨

## 東和化成株式会社

代表取締役 納土栄一郎

本社・工場 岐阜市前一色3丁目5番16号  
TEL<0582>45-5528(代)〒500  
東京営業所 東京都中央区新富1丁目5番12号  
TEL<03>551-6300〒104

バス・航空機・車輛・船舶用各種座席、航空機部品  
強化プラスチック、太陽温水器

## 天龍工業株式会社

本社 岐阜県各務原市蘇原興亜町4丁目1  
TEL<0583>82-4111(大代)

## 厚見プラスチック 工業有限会社

代表取締役 真鍋義雄

本社 岐阜市上川手498番地  
TEL<0582>45-1245

## 大垣プラスチック 工業株式会社

取締役社長 日比正隆

本社工場 大垣市大島町2丁目394番地  
TEL<0584>81-1347(代)  
名古屋営業所 名古屋市東区代官町2-4  
TEL<052>932-3945(代)

## 岐阜技研ポリマー 株式会社

代表取締役 篠田 哲

本社 岐阜市長森岩地465の1  
TEL<0582>45-8348  
本社工場 岐阜市長森岩地清水145  
TEL<0582>46-2541

合成樹脂原料製造販売  
委託加工及カラーリング

## 美濃化学工業株式会社

代表取締役 吉田博司

本社 岐阜県美濃市上条62-1  
TEL<05753>3-1888

## パール化成品株式会社

代表取締役 杉山日出雄

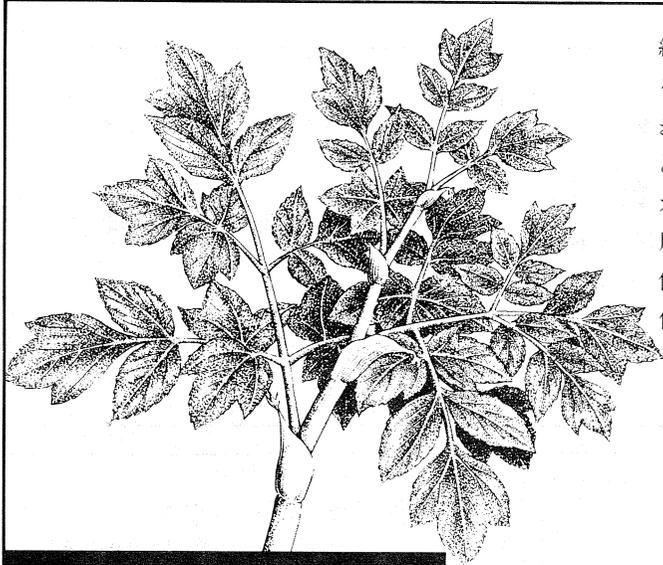
本社 岐阜市八坂町40  
TEL<0582>71-0861(代)

## 関化成工業有限会社

代表取締役 林 光夫

本社 関市東町4の9の1  
TEL<05752>2-1545(代)

工場 関市ひかり町  
TEL<05752>2-4904



## あ明日た葉ば

今日切り取っても明日は再生しているとの意から、明日葉と呼ばれる。セリ科の大形多年草。わが国暖地の海浜に生じ、葉は大形の羽状複葉、ウドに似て光沢があり、淡緑色。非常に強壯で発育が速い。葉と茎は食用となる。

純国産無公害エネルギー“天然ガス”を原料に求め、モノマーからポリマーまでのメタクリル一貫生産メーカーとして、世界の五指に数えられる協和ガス化学工業。用途に合わせた高品質素材を安定供給するため“天然ガス”を大切に使っていきたい。

メタクリル樹脂・注型板

**パラグラス**<sup>®</sup>

メタクリル樹脂・押出板

**コモグラス**

メタクリル樹脂・成形材料

**パラペット**<sup>®</sup>



協和ガス化学工業株式会社

本社 / 〒103 東京都中央区日本橋3-8-2 新日本橋ビル ☎(03)277-3174

大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396

福岡営業所 ☎(092)711-1530 / 仙台営業所 ☎(0222)66-1525



活きてる素材。  
三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

**アクリライト**<sup>®</sup>

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

**アクリペット**<sup>®</sup>

ABS樹脂

**ダイヤペット**<sup>®</sup> **ABS**



三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711

染料 }  
工業薬品 } 販売  
合成樹脂 }

# 山田化成株式会社

取締役社長 山田 正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号  
TEL (03) 256-7861(代)  
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)  
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

**JSR NF94**  
**JSR NC100**

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231



ニーズに適確に  
こたえることで  
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたって、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

 信越ポリマー

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)

# 信越P.V.C.

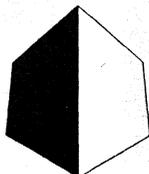
## 塩ビは信越……と評価されている理由

●信越化学は系列の日信化学と合わせ、量・質ともにトップメーカーです。

原料から一貫生産を行ない、常に新タイプの開発にとりくんでいます。応用面の研究も充実しています。

●グループの一翼である信越ポリマーを通じて需要家のニーズを品質に生かします。

●工場の1つに、130M<sup>3</sup>の大型重合器を備えコンピューター操作による最新鋭工場を有しています。



Shinetsu

# 信越化学

本社 東京都千代田区大手町2-6-1 電話(03)242-1211(大代表)

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)

電話代表 581-6511

# 日精はお応えします。

コストダウン・品質の向上・省資源の成形に…

コストダウン・品質の向上・省資源がますます要求される今日。より高度な技術力、柔軟な開発姿勢で対処していかなければなりません。日精は豊かな技術力と実績とによって、モルダのあらゆるご要望にお応えしています。付加価値の高い成形は、日精の成形機こそが、お役に立つことをお約束します。

**NISSEI**  
**P**

1歩進んだ射出成形機をおとどける  
**日精樹脂工業株式会社**

本社・工場 長野県坂城町 ☎(02688)2-3000(大代) 〒389-06 名古屋営業所 ☎(052)732-0261(代)  
岐阜出張所 岐阜市西部4962-1(西ビル) ☎(0582)72-5952

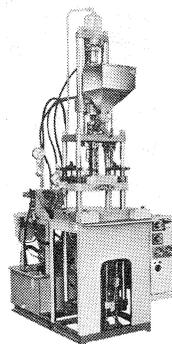
## さんじょうの 射出成形機!!

精密工業部品、インサート成形に特に適した機械と定評を頂いております。

射出量5グラム(1/6オンス)より600グラム(20オンス)までの各機種を製作いたしておりますので、用途に合わせてご用命下さい。

### — 営業品目 —

- 熱可塑性樹脂及び熱硬化性樹脂、ゴム用射出成形機
- ロストワックス用ワックス成形機、ワックス熔融装置、保温装置
- 液状原料用射出成形機、注入機、混合脱泡機
- セラミック用射出成形機
- 当社射出成形機用金型
- その他関連装置



●カタログご希望の方は紙名ご記入の上お申込み下さい。  
——成形機・金型・関連装置を社内一貫生産している専門メーカー——

### 株式会社 山城精機製作所

本社	東京都板橋区弥生町32番地	TEL(03)	972-0561(代)	
業務部・工場	埼玉県川口市中青木2丁目18-21	TEL(0482)	51-6156(代)	
名古屋営業所	名古屋市北区桶町味鏡政所28番地	TEL(052)	901-5861番	
大阪営業所	TEL(06) 443-3771(代)	八王子出張所	TEL(0426)	51-7144番
九州営業所	TEL(092) 571-2740番	小倉出張所	TEL(093)	471-1079番
前橋営業所	TEL(0272) 52-0733番	城南出張所	TEL(03)	776-2254番
広島出張所	TEL(0822) 32-2785番	沼津出張所	TEL(0559)	22-9610番



リスのプラスチック



# 今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

**Noble**  
ノーブル

## 岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)  
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)  
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮